

米沢興譲館高校SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール

SSH推進委員会 代表挨拶

SSHの取組みがもたらすもの

校長 吉田直史

本校のSSH事業は第IV期3年目を迎えます。全国の採択校の中でも先頭集団を走っています。本校のカリキュラムには、文系・理系を問わずSSHだからできる様々な「仕掛け」があります。科学的なものの見方や考え方が身につく、学問への「アンテナ」が高くなることが期待されます。また、SSHのプログラムでは、学校外のフィールドでの学びや、世界の仲間たちと切磋琢磨し、日頃の取り組みの成果を発表しあう機会も提供されます。学問を通じた交流は、自分の視野を広げ、次の学びへのモチベーションが高まることも期待されます。

さあ、主人公になって、真摯に学びに向き合ってみましょう。豊かで充実した人生を送るための「引き出し」を増やしていきましょう。「期待される」中にいるだけではもったいない。もたらされるものは人それぞれ。でも楽しくワクワクした学びは、未来を生き抜く大きな力になります。皆さんの挑戦を楽しみにしています。



スーパーサイエンスリサーチ (SSR) 徒弟制を実施して

4/17、4/24、5/1と3回にわたり、SSR徒弟制を実施しました。1、2回目は「問い立てワーク」を各コースごとに2・3年生合同で行い、3回目は3年生がテーマ設定の経緯、手法、考察など探究を振り返って上手くいったことや課題を2年生に伝えました。3年生はSSRを振り返りながら2年生に自らの取り組みを伝えることでキャリア意識の涵養を図り、2年生はSSRに対する具体的な方策を学ぶことで、今後の動機付けを図りました。

【2学年生徒感想】

- ・ 質問を分類して、問いに対してどのような質問がふさわしいのかが理解できた。
- ・ 問いをオープン、クローズに分類しそれを変換することで、本当に知りたいことは何かを考えることができた。問いが深められた。
- ・ 今回の徒弟制の活動を通し、これからのSSRの研究内容、活動への具体的なイメージを持つことが出来ました。これからの研究への期待が膨らみながらも、昨年度の先輩方の努力を肌を感じる事が出来ました。計画的な行動を心がけ、これからの研究に取り組んでいこうと思います。
- ・ 徒弟制の活動を通して、動機決めのアドバイスなど、SSRの活動に活かせるものを多く得ることができました。課題研究の指南書には書いていないことも教えていただいたので、とても実りある時間になりました。教えていただいた事を研究に繋げ、充実した活動にしていきたいです。



210

山形県立米沢興譲館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel 0238-38-4741 (代表)

